

いつでも
どこでも

たとえ なに 何が あっても

なに 何かが うまく い 行かないと、かな 悲しく なったり する。きずついたり、はら 腹が た 立ったり、こわかったり、がっかりしている とき 時には、
うれしそうにしているのは むずかしい。つらい とき 時には、イエス様を
さんび 賛美しよう。イエス様 さま に はな 話して、たとえ なん どんな ことが あっても
イエス様が いい 良い 友だちで いて くれる こと を、かんじや 感謝するんだ。

イエス様は でし 弟子たちに、こう はな 話して くださった。「あなたがたは、
こころ 心を さわがせないが よい。神を しん 信じ、また わたしを しん 信じなさい。」¹
さんび 賛美して、神様に しんらい 信頼している こと を あらわ 表すと、神様は ぼくの ぼくの 心を
やす やす 安らぎと なぐさめ なぐさめで み 満たして くださる。もんだい 問題は かいけつ 解決して
いないかもしれないけれど、その じょうきよう 状況を よ より りかい 良く 理解し、
それでも イエス様は すぐ すぐ そばに いて くださるって わかる から、
ぼくは しんぱい 心配したり とり乱 取り乱したり しなくて しないで いい なんだ。

イエス様を さんび 賛美するのが いつも いつも かんたん かんたんとは い 言えないけれど、
それでも さんび 賛美するなら、きもち 気持ちが あか 明るく なる。イエス様が ちか 近くに
おられるのを かん 感じる。だから、たとえ なに 何が お 起こっても、イエス様に
たよ 頼れるんだ。

¹ こうご 口語訳聖書、ヨハネによる ふくいんしょ 福音書 14:1

